

令和二年五月一日発行（毎月一回一日）  
書象 第六十八卷 第五号 通巻七七四号

# 書 系



私たちが「日本の書道文化の  
ゴネス「書形文化遺産登録」を  
応援しています。」



日本書道芸術協会

2020- 5

## 卷頭言

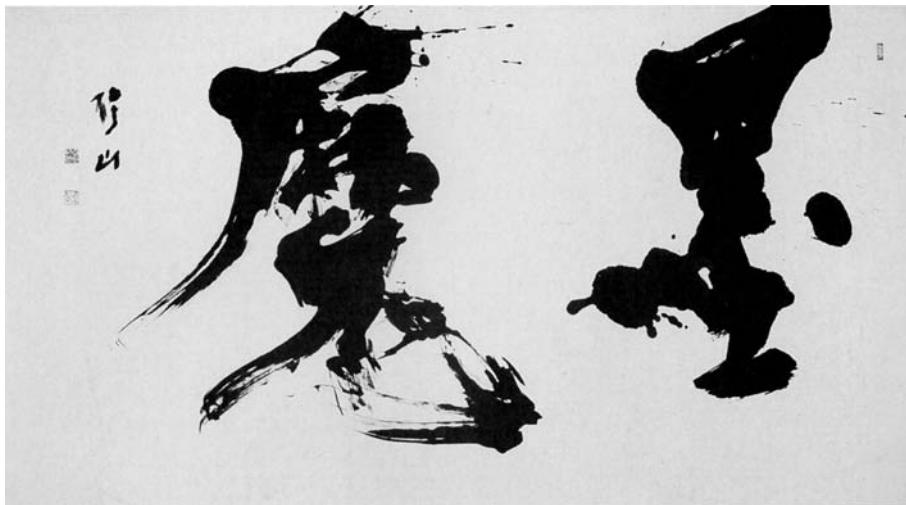
### 読売書法展・日展原案同時進行

副理事長 山口啓山

書象展の作品制作も終了し、一区切りついたらもう四月も半ばとなりました。"歳月

人を待たず"とよく言われますが、本当に時の経つのは驚くほど速いものです。

上條信山先生書「墨魔」1982年



さて、タイトルの如くわが国を代表する二大公募展読売書法展と日展に挑戦する時期が参りました。書象会では、ここ数年前から二大展への対応策として早め早めに構想を練り上げ、二展同時に準備を整えて余裕を持って納得のいく一点を出品しようと呼びかけています。例えば何度かある読売添削会において、一緒に日展の原案の指導も行うというものです。こうすると日展出品作の方向性が速やかに決定づけられるので、従来の追いつめられた状況での作品制作と異なり、自由な発想・作品のバリエーション・表現の多彩化などプラス作用が実際に多く働いてくれます。一つの展覧会作品だけに何ヶ月も対峙すると、一点集中という良さもありますが、多くは鮮度を失って飽きが来てワンパチーン化する傾向が強いものです。二つの展覧会への作品については当然内容、形式、表現方法等が異なるわけですから常に新鮮で適度な気分転換を伴い、自由な発想で取り組むことができ、確かな相乗効果を生みだしてくれます。自らの書人としての成長のため、この機会を活用して意識的に冒険をしてみては如何でしょうか。但し、一点の作品を作るのでも容易ではないにとお考えの方も多いことでしょう。その方々は、くれぐれもご自分のペースを崩さないで、今年も読売展に出品してください。

最後になりますが、書道会は今、出品点数の減少傾向が何年も続いています。書象会も同様で、懸命にその対応に取り組んでいます。上條信山先生の清冽で格調高い書風は勿論のこと、先生が築き上げられた日本書壇におけるわが書象会の立ち位置もしっかりと伝承していかなければなりません。昨今の社会状況を鑑みても高齢化の進行、景気の動向等もあまり明るい状況がありません。それでも、敢えて読売書法展への出品を呼びかけなければならぬことをお察しください。書象会の皆様、今年の読売書法展に一点でも多くの方が出品してくださるように心からお願ひ申し上げます。



聞く道く行人來たるを  
なら

5月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付



糟粕丘墳。年十

出品券を貼付  
5月20日必着

十立 糟粕墳年

長い横画は右側に向  
かって長く。

手首を立て、肘を動かし、大きな運筆を心がける。  
横画は右上がりに、角度を統一する。ただし、長い横画は右上がりを少し抑えて文字を安定させる。  
縦画の方向、长短に注意。

・横画の方向に注意して書きたい。

髪…空間を大切に。扱いは伸びやかに。



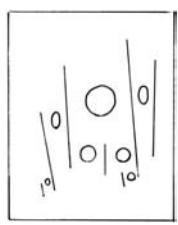
同…構えは、背勢にする。



仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書

・全体構成は左図参照。



・文字の大小長短の変化を意識しながら軽快に書きたい。  
・行頭、行末の位置や行間の広さにも留意する。

「過」

「衣」

「夏來」

「衣」

「」

「夏來」

「」

— 6 —

は（八）る過ぎて夏来るらし（）ろた（多）への（能）  
衣ほした（多）り（利）天の（能）か（可）ぐ山  
(万葉集)

5月20日必着  
出品券を貼付

仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書

二字連綿は「かな」の美しさを發揮する上で非常に大切なものです。二字が一字のつもりで、お互いがゆずりあうように書きたい。

ほ

ち

と

はな  
（那）

さ（佐）  
き（支）

とり

なく

とし

むら

た

か

む

むら  
〔むら〕

とし  
〔とし〕

た  
〔た〕

か  
〔か〕

と

ち  
〔ち〕

ほ  
〔ほ〕

研究【研究】

「張猛龍碑」臨書

※どちらか一体を出品してください。

5月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します

積文  
河南



田中節山先生書

河  
南



杉山曉雲先生書

風  
化  
移  
新  
飲  
河

今月のポイント  
・横画の方向の変化、文字中の空間の広さの違いをとらえる。

今月のポイント  
・点画の強さを表現する。  
・縦画の方向に注意する。

今月のポイント  
・縦画はやや右下方向にひく。



蒼松石に倚つて閑なり

- ・「倚」の最終画はゆっくりと垂直におろし、スピードを上げながら一気に左下へ筆を立てて払う。
- ・「松」「倚」はP.14参照。

条幅隨意【条隨】

中村巍山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付



白草原頭京師を望めば、黄河  
水流れて尽る時なし。

王昌齡

(出塞行より)

- ・潤渴をつけて流れを出す。
- ・平仮名は細くならないようにする。

信生  
朱活

中学一年規定【学毛】

柳澤玄嶽先生書

生者  
會の爲

中学二・三年規定【学毛】

市澤靜山先生書

通字

小学五年規定【学毛】

石丸曉風先生書

母光原

小学六年規定【学毛】

荻田光山先生書

毛筆

小学三年規定 【学毛】

寺尾碩雲先生書

毛筆

小学四年規定 【学毛】

久保妍山先生書

小学一年規定 【学毛】

大島岐山先生書

小学二年規定 【学毛】

小淵石峯先生書



## 硬筆規定

一般規定【二硬】(師範・準師範・段位)

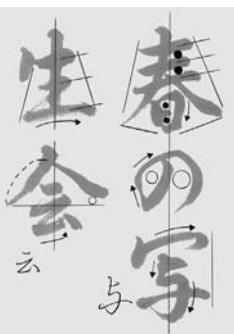
上條信山先生書

最もか弱い生物でも、その力を一つの目的に集中することによって、何かを成しとげ(介)ることが出来る。水滴も岩をうが(可)つ。(カーライル)

大麦や小麦の茎を短く切りとつて吹くと、やわらかな澄んだ音色が楽しめる。麦笛という。

中学規定【学硬】

樋口玄山先生書



中学二・三年

行書では筆脈を意識し、点画の連続も運筆に緩急をつけてリズムよく書くことを心掛ける。墨継ぎも一文字につき二回目安にし、始筆・終筆では丸みを帯びた筆使いで書くようとする。

「生」は三本の横画を等間隔に。「活」の六画目は横画の中央で交わる。「信」の言葉は横画の方向を揃え、口の縦画は内側に向ける。「条」は三つの左払いと三つの右払いのバランスに注意する。

青山北郭に横たわり白水東城を  
ゆぐるこの地一たび別れをなす孤  
蓬一ノ里ゆく。

一般規定【二硬】(級位)

藤岡月華先生書

最もか弱い生物でも、その力を一つの目的

に集中することができる。水滴も

岩をうがつ。(可)つ。(カーライル)

## 小・中学生随意課題【学隨】

左の字句を半紙に書いてください。

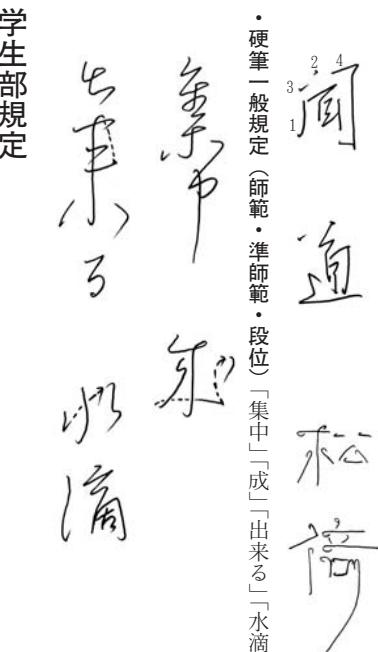
表現自由。入選作のみ発表します。  
出品券を貼付して下さい。

小 一・二年 学	日	五 小 一・二年 学	記念	小 三・四年 学	声援
中 学	安	中 学	通	中 学	松 倚

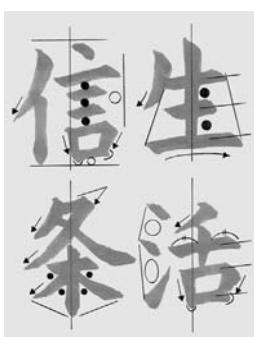
### 手本解説

・基本 「聞」「道」は左図参照。

・隸書条幅規定 「松」「倚」は左図参照。



学生部規定



中学一年

高学年は、形の整った美しい文字を、速くていねいに書くことが大切です。

名前  
支部 年 級段

小学三・四年規定【学硬】  
畠中高山先生書

心のこもった手書きの手紙

はどんな品物よりもうれし

いおり物です。

名前  
支部 年 級段

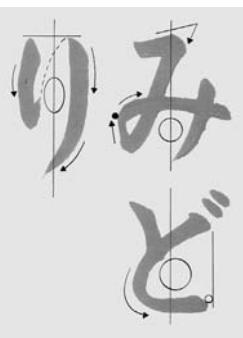
小学一・二年規定【学硬】

藤森大節先生書

う	の	バ
車	人	ス
で	を	は
す	は	、
.	こ	お
なまえ	ぶ	お
支部	じ	せ
年	ど	い
きゅうん		

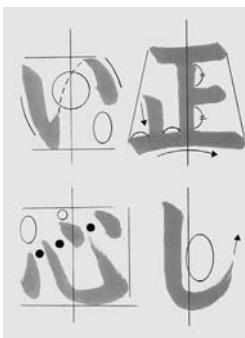
\*出品券を貼付して下さい。

一般(師範・準師範・段位)・一般(級位)・中学生はペン使用のこと(中学生は鉛筆も可)。小学生は鉛筆使用のこと。作品の大ささ→たて18cmよこ7cm 小一・二課題→2.1cm巾のマス目。紙を使用する。小三・四・五・六課題→2.1cm巾の罫線を引く。



小学二年

「正」はそれぞれの画の長さや間隔に注意する。「し」は書き出しの位置と払う方向に注意する。「い」の二本の線はやうやく丸みをつける。「心」は四画目の点を外に出しすぎないようにする。

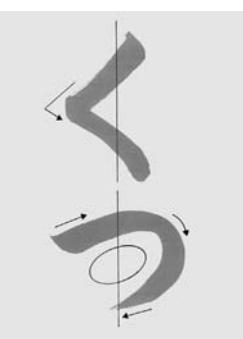


小学四年



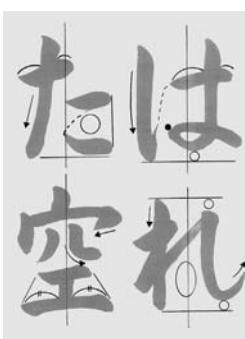
小学六年

「光」は丸の始筆を横画に浅く接するように書く。「る」は三角形を外形とし中に線上で結ぶ。「海」は毎の縦画を徐々に開く方向に書く。「原」は「广」の内部を中心より右側に配置する。



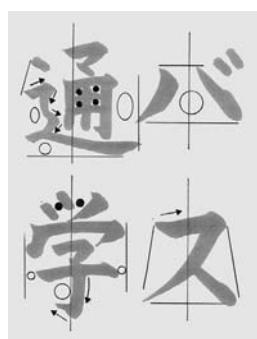
小学一年

「く」は中心より右側から書き始め、中央ではつきりと折る。「づ」は右上がり部分は腕全体で書く。「り」の字形は縦長にし、左右にふくらみをつける。



小学三年

「は」は「一」二画目の始筆の高さを揃える。「ス」の二画目の終筆は軽く止める。「通」は甬を中心より右側に配置し、このバランスを図る。「学」は「ノ」の始筆と終筆、子のそりに気をつける。



小学五年

写実的臨書

大字(五か六文字)

乙  
瑛碑

後漢・永興元年(一五二年)

- ①文字数は五文字か六文字。左の6つの中より選んで書いて下さい。
- ②半紙は縦にして書いて下さい。
- ③落款を入れて下さい。
- ④作品の表左下に、支部名と氏名、又は号を鉛筆で記入して下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。

奉先聖之禮

魯前相瑛書言

奉先聖之禮

唐前相瑛書言

平原高唐人

大司農給未祠

平原高唐人

大司農給未祠

平 原 高 唐 人

大司農給未祠

臣稽首叩頭

給大酒直湏報

臣稽首叩頭

給大酒直湏報

# 「上條信山近作選（一九八三年）」その5

## ⑯聴雨（一九八三年 現代書道二十人展）

作品のタイトルが詩的であり、静かで余裕のある情景が想起される。それに反して表現は実際に躍動的、絵画的である。聴字を篆書体で、雨字は隸書体で書かれていて、異なる書体の組み合せによる表現であるが、何の違和感も感じない。字形の結集力と線の縦横無尽の主張と迫力に圧倒される。雨字の四つの黒々とした点が作品のポイントとなっている。



⑯ 聽 雨

## ⑰ 西郷南洲詩



⑰ 西郷南洲詩

## ⑱ 調和体「西郷南洲詩」（一九八三年 松本市個展）

雄勁な筆致と躍动感溢れる独自の表現で現代書道界に新境地を開いた代表作となった。大小、長短の変化を加えながら流れ出るリズムが快い。直線的な楷書とカタカナが一体となって同化し、美しい調和体となっている。長めに書いた線、黄色の用紙と墨の黒の対比は共に視覚効果を高めており、新鮮である。

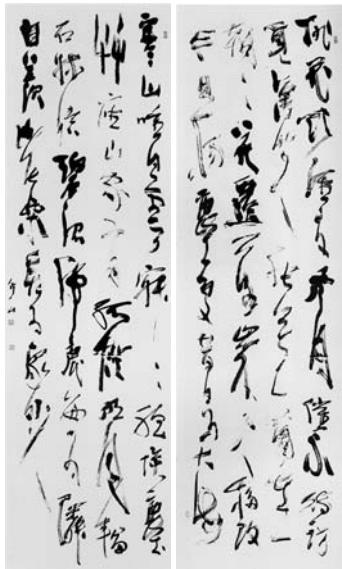
## ⑲ 寒山詩五律二首（一九八三年 謙慎書道会展）

第四十五回謙慎書道会展役員室で一際話題作となった。三尺×八尺二曲、八行書きの大作は、何の拘束もない、自由自在な筆致で躍動した行書作品である。直筆中鋒の用筆で一気呵成に運筆されており、長い線の主張が全体の変化を高め、視覚的、立体的な効果を高めている。呼吸の長さを感じる自在の結構は実に楽しい。信山先生の表現力の豊かさに圧倒されるものである。

## ⑳ 大方無隅（一九八三年 松本市個展）

巨大な四角には隅がない。老子の言葉を素材としてここでも楷書、隸書、篆書を一体化した作品である。「太い線で勢いよく、堂々とした表現を試みることにした」と信山先生の弁。すさまじい迫力で空間を充たし、書の持つエネルギーを存分に発揮している。一九八四年、読売書法展ワシントン展に参観した時、多くの米国人が釘付けになって見入っていた光景が思い出される。

（理事長代行 内藤望山）



⑲ 寒山詩五律二首



⑳ 大方無隅

# 第82回 謙慎書道会展

新型コロナウィルス感染防止の為、  
本展は中止となりましたが作品を  
掲載します。

副会長 展覧会顧問 審査顧問 特別賞選考委員

田 中 節 山



副理事長 展覧会総括 審査副主任 審査進行 特別賞選考委員

市 澤 静 山



虎子春日書於茗園清庵蒼鶴山

常任理事 展覽會總務 特別賞選考委員

內藤望山



常任理事 本年度審查員

樋口玄山



常任理事 本年度審查員

恩田 静月



常任理事 本年度審查員

荻田光山

山欲而原上草未生  
一折百山環  
縣歸日暮霞深煙雲暮  
時流不因林胥是之  
三國諸多所恨  
長夏春天客

常任理事 本年度審查員

杉山窓影

一祖雜列皆出  
畫即言行

王東

常任理事 本年度審查員

露崎玄峯

二人宿事

耳目一

脚家

候考の聲

周易集古文

常任理事 本年度審查員

鈴木春鳳

洗盡塵埃色漫雲  
風對蕭然滿漪漪  
蘭堂入道簾中玉鳳

常任理事 本年度審查員

烟台高山

瑞氣新

常任理事 本年度審查員

竹內青紗

清風弄竹月衝山幽人夜度吳王峴黃州鼓角  
亦多情送我南來不辭遙江南又聞出塞曲半  
雜江聲但悲健誰言萬方鼙一緊鼉憤龍悲  
萬念變我記江邊枯柳對木死相逢真識面他  
年一葉汎江來還嘆此曲相迎餞  
朱復詩青紗書

# 第八十二回謙慎書道会展入賞者発表

◇青山賞

池上 湖心

◇春興賞

鈴木 花照

余語 元祥

◇推薦顧問賞

田幸 智峰

◇特薦謙慎賞

秋葉 景華

荻原 梓虹

松岡 韶秀

吉田 煌扇

山口 山口

芳節 菲峰

華杏 菲峰

門脇 菲峰

石井 石井

高見澤 恒静

北川 高月

加藤 弦宵  
工藤 和春

北村 曙光  
久保田 珠悠

加藤 静花  
木内 理映

上條 窓苑

鈴木 征峰  
寺尾 桑花

長島 天意  
珠泉 天意

関口 越山  
土井 雲峯

田口 富田  
童柳 雅華

林 泰吟  
藤井 静素

野崎 珠泉  
中田 皓花

馬場 采葉  
中村 春桃

山中 孔心  
横井 萌玉

向山 大我  
飯田 天澄

矢作 麗川  
京節

畔上 肖榮  
横井 萌玉

藤井 静素  
宮澤 晃靜

平林 静千  
静千

上原 白麗  
大井 凜玉

大井 凜玉  
北堀 智祥

寺尾 桑花  
玄琥

小沼 宗心  
大石慈宝苑

大住 玄琥  
遠藤 晨翠

田尾 桑花  
天龍

武田 篠塚  
杉山 煙光

大橋 玄琥  
斎藤 華駿

寺尾 桑花  
皓花

中谷 友節  
葉暁

中谷 玄琥  
華駿

田尾 桑花  
雅華

増山 武田  
杉山

横山 玄琥  
斎藤

田尾 桑花  
童柳

八木橋祐介  
仙丈

横山 玄琥  
斎藤

田尾 桑花  
雅華

渡辺 安原  
誘心

横山 玄琥  
斎藤

渡邊 橙泉  
智真

横山 玄琥  
華駿

田尾 桑花  
皓花

渡邊 橙泉  
智真



# 第45回埼玉書道三十人展

新型コロナウイルス感染防止の為、本展は中止となりましたが、図録より作品を掲載します。

## 藤森博士の漢字表記にもの申す⑯

書道学博士 藤森大節

天龍峠の詩（平澤茅邨詩『信濃五百八景』）（二一五×五三） 市澤静山

書聖嘆ニ來リテ十載ヲ揮ヒ不書毫端ニシテ消滅フ鏡ヲ大摩崖ニ置  
事ニ至ル。頃ケルニ思ニタリ絶交ノ事件ニ氣勢ヲサレ給ヒテ以ハニ解ニシ  
龍川ヲモア西岸ノヨリ保然タリ赤石ノ立峰ヲ望フ懐ニ磨崖ノ御  
門征テ巣立テ歸ロアリ寒ニテ流氷奔流ノ如ク春曉テ尼岩洞臺ニ間  
ノ始末ノ舊説差々變ヌシ畢竟降大シテ後ニテ春草が繁ヒタリ



吐発閑雅（北史）（二二八×八〇）

市澤静山

この四月から小学校で新学習指導要領が全面実施されます。今回の改訂により、第一・二学年から水書用筆等を使用した運筆指導がはじまります。そのねらいは、点画の書き方や文字の形に注意しながら書写における“適切に運筆する能力”の向上を図ることにあります。

メーカーにより多少の違いはありますが、水書用筆は一般的な小筆ぐらいの大きさです。これを硬筆と同じ持ち方をして練習します。先端の柔らかい水書用筆等を使用することで硬筆では分かれにくい点画の始筆・送筆・終筆を適切に運筆する意識と習慣が養われます。「これが硬筆に還元されて正しく整った文字を書くための力となるのです。第三学年から始まる毛筆を使用した書写指導へとスマースな移行も期待できますし、書写の課題でもあった服装を汚す心配がないため、安心して取り組めるメリットもあります。

書象会では一〇一九年度の支部長講習会で「水書用筆等を活用した指導法 指導者研修会」を開催しました。研修は映像解説による理論と、水書用筆を用いた実技の一本立てで行われ、指導者の立場から水書指導の目的と指導内容を理解するとともに、学習者の視点から学習効果を体験することができました。

より良い書写書道教育の実現には情報共有が欠かせません。このような講習会が定期的に開催され、一人でも多くの会員が受講できる機会が設けられることを期待しています。

# 露崎玄峯書展

会期 令和二年三月十三日(金)～十八日(水)  
会場 東京銀座・ジャンセン美術館



じっくりご覧になる市澤先生



田中先生に作品のご批評をいただく



書作について話される内藤先生



多くの来場者で賑わう会場



大小様々でバラエティーに富んだ作品が展示



去る令和二年三月十三日から十八日まで、春まだ浅く、桜の開花とともに雪が舞う日もあった東京銀座、ジャンセン美術館（アートスペース銀座）にて、本会常任理事の露崎玄峯先生の第一回目となる個展が開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、多くの催しが中止となる中でしたが、会期中には、田中節山会長・市澤静山理事長を始め、書象会会員は勿論、高等学校で教鞭をとらっていた時代の教え子や地元葛飾区の関係者など多くの方が会場に詰めかけ、大変意義のある展覧会であったと感じます。

作品は、先生が普段から取り組まれている「漢字かな交じりの書」（調和体）を中心に、漢字作品も含め、大小を織り交ぜながら壁面に四十二点、また、机上には先生の学書の跡が見て取れる折帖による臨書作品や色紙作品を帖にまとめたものなど様々なジャンルに富み、更には使用された紙の工夫や表具の素晴らしさも相まって、参観した後には温かい気持ちで心が和み、その心地良さからいつまでも会場に留まっていたくなるような展示となっていました。

先生からお話を伺いする中で、「古典の学習は大切。作品制作の基本は信山流、その中でいかに自分を表現するか。自分としては書の中に柔らかさと温かさを求める」とおっしゃっていたことが印象に残ります。そのお言葉通り、作品には信山流の中に先生のお人柄がにじみ出ており、参観する方を魅了していたことは言うまでもありません。

展示作品の中にある「万象一如」。この言葉と作品が示す通り、今回の個展で発表された作品はそれぞれに違いますが、その根底にある先生の作品に対する思いは全て一緒であると改めて感じることができました。最後になりますが、先生の更なるご活躍と次回の個展開催を祈念して、また、後進の我々に学書のあり方を見つめ直すきっかけを与えてくださった先生に感謝申し上げます。

(竹内藍山記)

## 正師範紹介

天然ぽけの花

富貴会支部



## 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

### 特待生合格



高社支部 中三

飯島菜々

### 全てに感謝!!



大野悠紗  
有象虹支部 中三

今回、特待生として合格することができとても嬉しく思います。ここまでこれたのも、先生、両親のおかげです。本当に感謝しています。これからも努力し続けていきたいと思います。

支部長先生より一言 お稽古を始めたのは早くありませんでしたが見事合格。今後も皆のお手本になる様な作品を書いてね。

この度は、正師範の認定をいただき有り難うございました。「すばらしい字をかかれる先生がいらっしゃるよ。」と友人に誘われ、筆を持つ事が好きだったので早速出向きました。藍先生と出会いました。クリッとした御姿で筆の持ち方、線の引き方など厳しく分かり易くご指導下さいました。先生の筆遣いには感動を感じました。また書象誌の見方や文字と文章の成り立ち・意味についても深くお聞きしました。かしいまでも多くお話を伺いました。今後ともよろしくお願ひ申上げます。

小学四年の終わり頃から習い始め、最初は字をきれいに書けるようになりたいと思っていました。特待生を一つのステップだと思い今後も新たな目標に向かって頑張って行きたいと思います。とても嬉しかったです。支部長先生より一言 教室では数少ない男子特待生!! よく頑張りました。学業、書道、柔道と頼もしい姿、将来が楽しみです。

特待生

有象虹支部 中三



大草拓麻

### 二冠達成



皓花支部 中三

岩村芽依

今回、目標だった「二冠」を達成できてとても嬉しいです。硬筆は毛筆よりも苦手だったけど、今まで頑張ってこられたのは先生のおかげです。これからも、もっと字が上達できるように努力していきたいと思います。

支部長先生より一言 苦労していた硬筆の合格、おめでとう。進学で地元を離れるけれど、書道は続けてほしいと思います。

小学校二年生から続けてきた書道で、特待生になることができるとしても嬉しいです。合格できたのは、丁寧に教えてくださった先生と私を励ましてくれた家族のおかげです。ありがとうございます。ありがとうございます。支部長先生より一言 特待生合格おめでとうございました。部活と書道を両立させ頑張りました。更なる飛躍を願っています。

感謝

桜木支部 中三



野村ほたる

### 目標



伊奈支部 中二

高木涉聖

小学校二年生から習字を始め、特待生になることができとても嬉しいです。うまく書けずイライラしてしまう時もあったけど、諦めずに続けて良かったです。これからも上達できるようにならなければなりません。

### 特待生になつて



志摩支部 中二

大西希実

小学校二年生から習字を始め、特待生になることができとても嬉しいです。うまく書けずイライラしてしまう時もあったけど、諦めずに続けて良かったです。これからも上達できるようにならなければなりません。

支部長先生より一言 黙々と頑張っている姿にいつも感心しています。更に仮名文字に挑戦していきますよ。おめでとう!

今回、毛筆に続き硬筆も!! 目標の「二冠達成」することができますが、とても嬉しいです。今まで御指導してくれた先生、応援してくれた家族、仲間に感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。

支部長先生より一言 めでとう!! 努力の結果です。感謝の気持ちを忘れず、次の目標に向かって前進、期待していますよ。

支部長先生より一言 今では誰よりも落ち着いて集中できる人に。書道は今後益々上達する事でしょう。応援し続けます。

## 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

### 特待生合格



伊奈支部 中二



### 感謝

瑞祥支部 中三



### 特待生

練馬支部 中三

今回、硬筆に引き続き毛筆の特待生に合格し、すごく嬉しい思います。二冠達成できたのは、毎週楽しくおけいこをさせて頂いている幸せな環境だと思います。これからも努力していきます。ありがとうございます。

**支部長先生より一言** 昨年中の毛筆合格を目指とし見事達成、二冠おめでとう！様々な場面で更なる活躍を期待しております。

硬筆、毛筆の両方で特待生になることができ、とても嬉しいです。これまでお稽古を続けてきて良かつたです。指導してくださいました先生に感謝しています。これからも、上達できるよう努力したいです。

**支部長先生より一言** おめでとう!!同時に達成できたのは努力と集中力の賜ですね。今後は師範に向か、更に頑張って下さい。

### 二冠達成



小山晋平

今回硬筆に続き毛筆も特待生になることができて嬉しいです。毛筆は硬筆よりも下手で不安でしたが、今まで頑張ってきて良かったです。もっと字が上達できることからも努力していきたいと思います。

**支部長先生より一言** 休まず通い二冠を達成しました。昨年の県展では特選に輝きました。良く頑張ったね。おめでとう。

### 今の気持ち



瑞祥支部 中三  
安形朱美澪

小学一年生の頃から現在まで、一つ一つステップアップしていき、ようやく特待生になることができました。

ここまでご指導してくださった先生に感謝です。今後もより一層頑張っていきたいと思います。**支部長先生より一言** 特待合格、おめでとう!!一心に取り組んでいる姿勢は皆のお手本です。更なる飛躍を期待しています。

### 二冠達成



練馬支部 中三  
矢野ことり

「特待生」という文字に憧れて七年。ついにその壁を乗り越えたと思うととても嬉しく思います。ここまで指導して頂いた先生に感謝を申し上げると共に次の目標である硬筆の特待資格に向けて精進したいと思います。

**支部長先生より一言** 長い間の努力が報われて念願の毛筆特待生に合格おめでとう！じっくり取り組む姿は本当に立派です。

### これまでの成果



高社支部 中三  
松尾允慈

硬筆に続き、毛筆でも特待生になることができて嬉しいです。あきらめずにここまで続けて本当に良かったです。そして長い間ご指導くださった松岡先生にはとても感謝しています。これからも習字を続けたいです。

**支部長先生より一言** ことりさんの諦めず続ける姿勢と御家族の支えに私も多くを学び感謝しています。

私は、小二の時に硬筆から始めました。特待生になりました時間がかかりましたが、日を追って以前より文字がきれいになりました。今回、硬筆の特待生という結果を残せてうれしいです。ご指導ありがとうございました。

**支部長先生より一言** 硬筆特待生合格おめでとう。バレーボール部活動との両立、立派に成し遂げることが出来ましたね。

### 次なるステップ



和賀井美琶  
杉支部 中二

勉強と部活動との両立は大変でしたが、毎週休まず通つた成果が今回このような晴らしい形で残せたことを嬉しく思います。これまで指導していただいた先生にとても感謝しています。ありがとうございます。

**支部長先生より一言** 姿も行動も書作品も大人の様。小さな生徒さんとも仲良くやってくれましたね。こちらこそ感謝です。

前田実紅里  
石峯支部 中二

私が特待生になれたのは、やはり先生の御指導あってのことだと思います。私に合わせた分かりやすい指導をして下さいました。今年は受験がありなかなか書くことが難しかったのですがこれからも続けたいと思います。

**支部長先生より一言** 勉強が忙しくなり時間を作るのが大変でしたね。最後まで諦めずよく頑張った成果です。合格おめでとう。

硬筆、毛筆の両方で特待生になることができ、とても嬉しいです。これまでお稽古を続けてきて良かつたです。指導してくださいました先生に感謝しています。これからも、上達できるよう努力したいです。

**支部長先生より一言** おめでとう!!同時に達成できたのは努力と集中力の賜ですね。今後は師範に向か、更に頑張って下さい。

# 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

## 特待生

照澤支部 中二



宇治橋 志彦

私は習字を始めて五年目になります。五年という短い年月しか教室に通っていませんが、特待生になることができました。とても嬉しいかぎりです。これからも切磋琢磨して上を目指していきたいです。  
**支部長先生より一言** 「心技体」を剣道と書道で更に鍛えよう。成長を楽しみにしています。

## 特待生になつて

聖支部 中三



宮下 菲

私は小学二年生から書道を続け、硬筆に続き毛筆でも特待生になることができました。特待生になれたのは熱心にご指導して下さった先生のお陰です。本当にありがとうございました。  
**支部長先生より一言** 剣道、生徒会長、書道と努力が実を結びました。高校でも目標に向け更なる挑戦をおめでとう。

## 継続は力

上尾支部 中二



竹村 柑太

私は小学二年生から習字を始め、約六年間、ひたすら「継続」を頑張りました。継続は力なりですが、その力が形になり目標を達成できました。ここまで教えて下さった先生と力が形になつたことに深く感謝いたします。  
**支部長先生より一言** 剣道部に所属し、何事にも熱心に取り組みます。書も丁寧で目標の特待も二冠達成。夢に向かつて突進！

## 二冠達成

茅野支部 中二



真道裡未

小学校一年生の時から書道を習い始めて、目標としていた特待生になることができ、とても嬉しく思いました。先生や家族の支えがあつて、ここまでこられました。本当に感謝しています。ありがとうございます。  
**支部長先生より一言** 二冠達成おめでとう。毎週休まず続けてきました。成果ですね。これからは色々な書体にも挑戦しよう。

## 感謝！

富貴会支部 中一



菊地 霞

習字を始めて、七年。「特待生になりたい！」といふ目標に向かって頑張ってきました。ご指導していくださった先生には、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。これからも、よろしくお願ひします。  
**支部長先生より一言** 毛筆、硬筆合格おめでとう。書道が大好きでとても研究熱心です。書展でも大活躍、書道においてがんばります！

## 母と一緒に

竹華支部 中三



伊藤 咲里奈

私は、五年生から母と一緒に習字を習い始めてやつと特待生になることができました。特待生になることができたのは、先生が優しく教えてくれたからです。もつとうまくなれるようにこれからも頑張りたいです。  
**支部長先生より一言** 努力は裏切らない。集中して頑張りましたね。書があなたを素敵なお姉さんへと導く事でしょう。

## 目標達成

竹華支部 中三



寺門 茉里奈

小学校一年生から始めた書道で目標だった特待生になることができてうれしいです。一度は落ちてしましましたが二度目の挑戦で受かることができました。これからも次の目標に向けてがんばります！  
**支部長先生より一言** 真面目に努力した結果です。最後は頑張りました。書を通じ親友も出来これから大いに羽ばたいて下さい。

## 念願の特待生

墨洋支部 中三



青木 巧永

小学校五年生の頃から、竹内墨洋先生のご指導の元で書道を始め、この度目標であった特待生になることができ嬉しく思っています。これからも書道はがんばって続けていきたいと思います。ありがとうございます。  
**支部長先生より一言** 部活動や受験勉強で忙しい中、硬筆に続き毛筆も合格おめでとう。頑張り続けた努力の結果に乾杯！

## 嬉しい！

聖支部 中三



木藤 南海

私は特待生に合格してとても嬉しいです。なぜなら、毛筆の特待生になるのはとても難しく、自分でもどうしたら良いか悩んでいたからです。これまで教えて下された先生に感謝です。  
**支部長先生より一言** 部活動や受験勉強で忙しい中、硬筆に続き毛筆も合格おめでとう。頑張り続けた努力の結果に乾杯！

今月の優秀作品



△隸書条幅▽ 評 柳澤 玄嶽

評 柳澤 玄嶽

- 中田皓花 微妙な線運動が榮える中  
峰の線質美大佳。
- 赤羽溥山 大胆な筆致で、雄大にま  
とめあげた。
- 三浦徑石 運筆が丁寧で味わい深い  
作品にまとめた。
- 林田翠山 練度を深めた線で、迫力  
が感じられる。
- 中島泰薰 気負いのない筆遣いで絵  
画的な姿あり。
- 渡谷静秀 重厚な中にも軽快感有り。  
雄大さが佳。
- 樋口志豊 筆が体の一部となり自然  
美を生み出した。
- 横井萌玉 隸法の入・收筆の技を身  
につけた秀作。
- 齊山霞舟 彈力の効いた運筆、逆筆  
書法を会得した。
- 藤澤竹虹 貫通力抜群。左払いの配  
分が効果的。
- 宿谷硯心 墨色美しく、紙面構成が  
見事な作。
- △通信条幅▽ 評 杉山 曉雲
- 青柳綠水 重厚な線で緊張感に富み  
貫通力のある佳作。
- 堀之上峯山 余白に明るい響きあり。  
骨力のある線でさわやか  
に仕上げている。

基本課題

評 樋口 玄山

月潤渴の変化が美しい作。完成度高し。  
松 軽快な運筆が線の切れ味を生んだ。  
琳 豊かな墨量が線に温かさを与えた。  
翠 行の中心がスッキリ通り明るい響きあり。

研究課題

評 久保 妍山

田島壽仙 錐い線で全体感良く仕上げられた作品。  
高杉景汀 大胆な筆致で書かれた作。この調子で。  
大西楊舟 墨量豊かに力強くまとめられている作。  
斎藤優月 基本に忠実に書いている。全体感も佳。

古典課題

評 白瀬 静苑

月 伸びやかな線で、明るい作品になった。  
美 ゆったりとした線質でまとめられた作。  
嶽 内に力を秘めて、外にその骨力を見る。  
聖 玉 横への広がりをみせ、重厚に出来ている。  
佐 翠 筆を直立させて、隸書の線で書けた作。  
惣 晓 小ぶりの作だが、鋭い線でまとまりあり。

師範部

△楷 書▽

評 柳澤 玄嶽

秦 賴山 伸びのある線で細部に迄緊張感が走る。

伊藤西光 松尾小楓 小田切静唱 端正な点画で結構の正確さが光る。

高橋天翠 片山邀月 線に余韻を感じ、紙面の空間処理も見事。

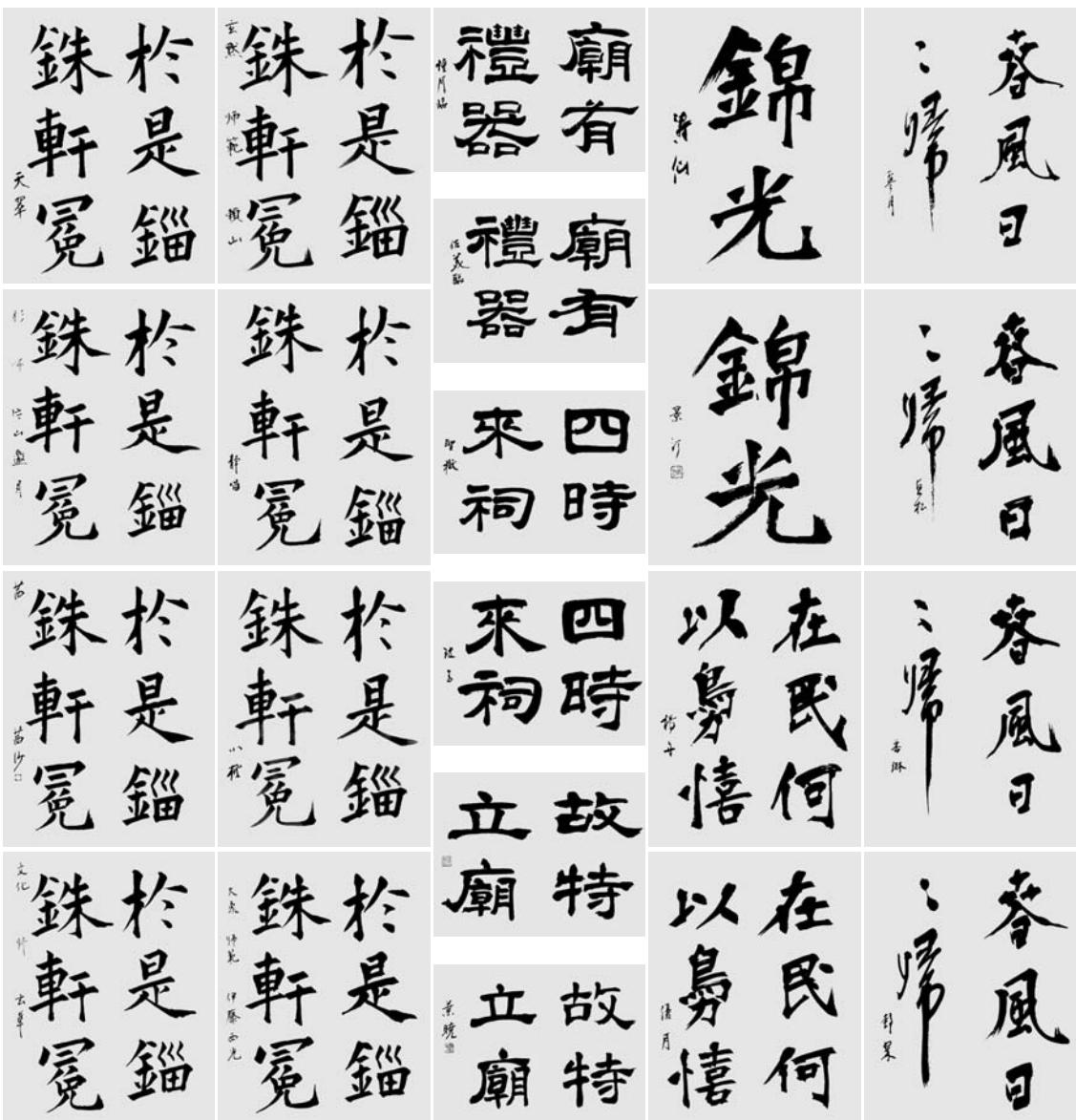
佐藤茜沙 佐玉玄華 紙背に徹する、深遠な線質が印象的。

伊藤西光 墨量を充分に含ませ、重厚で雅味ある作。

高橋天翠 点画の切れ味が抜群で美しく格調高い作。

片山邀月 平行、等分割の基本書法に徹した秀作。

佐藤茜沙 丁寧な運筆で腕法を効かし、安定感有り。



				<p><b>於是錙</b></p> <p>高橋太一 鈴木花仙</p>
				<p><b>於是錙</b></p> <p>土曜 師 花仙</p>
				<p><b>於是錙</b></p> <p>金井雅幸 吉川成華</p>
				<p><b>於是錙</b></p> <p>小池峰弦 松田司峰</p>
				<p><b>於是錙</b></p> <p>前山景草 金山雨虹</p>

**於是錙**

高橋太一  
鈴木花仙

**於是錙**

金井雅幸  
山田白葉

**於是錙**

土曜  
師  
花仙

**於是錙**

前山景草  
吉川成華

**於是錙**

大坂司津  
飯田成華

**於是錙**

吉川成華  
松田司峰

**於是錙**

小池峰弦  
金山雨虹

**於是錙**

飯田成華  
前山景草

**於是錙**

高橋太一  
鈴木花仙

高橋太一 鋒先を良く効かし、伸びのある線見事。

鈴木花仙 厳しさを内に藏して深さと安定感が有る。

山田白葉 等庄で運筆し清冽で美しくまとめられた秀作。

金井雅幸 冷静沈着な作風で、重厚で暖かみある作。

吉川成華 剛健な力強い筆致が作品に迫力を生んだ。

小池峰弦 正確な運筆で一点一画に隙無く、鍊度高し。

前山景草 見事な写実力で点画に隙無く、鍊度高し。

松田司峰 見事な写実力で点画に隙無く、鍊度高し。

金山雨虹 線太で一貫し、全体感が安定した秀作。

大坂司津 線の流れを意識した運筆が印象的。

飯田成華 行間が明るく伸びやかさが大変よい。

吉川成華 行間を生かして、うまくまとめている作。

小池峰弦 浅井藍風 墨と紙がマッチして、目を引く力あり。

前山景草 笹生藍花 中島泰慧 培われてきた力を自然に感じられる佳作。

吉川成華 北村照節 一字一字の字形がよく、無駄な動きなし。

吉川成華 中島泰慧 行間を生かして、うまくまとめている作。

吉川成華 笹生藍花 墨と紙がマッチして、目を引く力あり。

吉川成華 北村照節 力味が全くなく、素朴な雰囲気が大佳。

吉川成華 中島泰慧 線に力と明るさがあり、行立ても大佳。

吉川成華 倉谷聰月 線が美しく、淀みがない秀作。

吉川成華 前田名琴 学書の基本が見える佳作。墨色今一步。

吉川成華 倉谷聰月 線に力と明るさがあり、行立ても大佳。

吉川成華 前田名琴 構成、墨色、線質のいずれもすばらしい。

学生部

評 田中 珠光

評 田中 珠光

独創的

作品  
中三  
文野柚奈

独創的  
作品  
布山愛

元気に

歩く  
中一  
中山茜

文野柚奈 正しい筆使いで整った文字が書けた。  
布山愛 基本に忠実で、安定した造形である。  
高風 八十嶋羽季 ハネ・ハライの筆づかいが正確で美しい。  
八十嶋羽季 文字の配置に気を配り、全体感がよい。

八十嶋羽季 筆の入り方、力加減がよく美しい線だ。  
島村優心 伸びやかな線で、字の形も美しい。

永石咲季 筆の入り方、力加減がよく美しい線だ。  
高森結萌 伸びやかな線で、字の形も美しい。

斎藤彩華 始筆送筆收筆がよく、力強く書けた。

柿沼絢緒 一点一画氣を抜かず丁寧に書けた。

小林愛莉 筆の入り方、止め方、ハネ、みごと。

高森結萌 とても良い形です。名前もうまい。

下山花凜 力強くどうどうと書けている。

出口絵子 大きくうでを動かして伸びやかな表現。

小野離 どの線もていねいに書けている。

猪俣啓斗 文字のいち、大きさ、形、全て良い。

早野愛未 気持ちよさそうに書いている。

半紙隨意

評 小川 仙草

近藤咲季 力強い線で大変形よく氣力充実の作品。  
原山瑠梨 点画をしつかり書き真剣な努力作。

佐藤理世 大きさのあるどうどうとしたりっぱな字。

畠ひより 太いせんでかたちよくかけました。

このページに掲載された人には書象会より記念の  
筆をさし上げます。

勇姿

中二 近藤咲季

や思  
りい  
告  
絵子  
希緒

水  
面  
小五  
高風  
八十嶋  
羽季

光  
面  
る  
所  
中三  
文野  
柚奈

桜  
所  
の  
作品  
中三  
文野  
柚奈

印象

小六 原山瑠梨

れま  
わ右  
小二  
小野  
愛莉

お村  
の宮  
四年  
小林  
愛莉

名所  
の  
桜  
の  
小六  
優心

名所  
の  
桜  
の  
作品  
布山  
愛

発

四年 佐藤 瑠セ

れま  
わ右  
小二  
小野  
愛莉

お村  
の宮  
四年  
高森  
結萌

名所  
の  
桜  
の  
小六  
永石  
咲季

歩く  
榎本  
美月

貝

小二 畠  
ひより

ほん  
りゅう文  
まなか

や思  
りい  
小三  
下山  
花凜

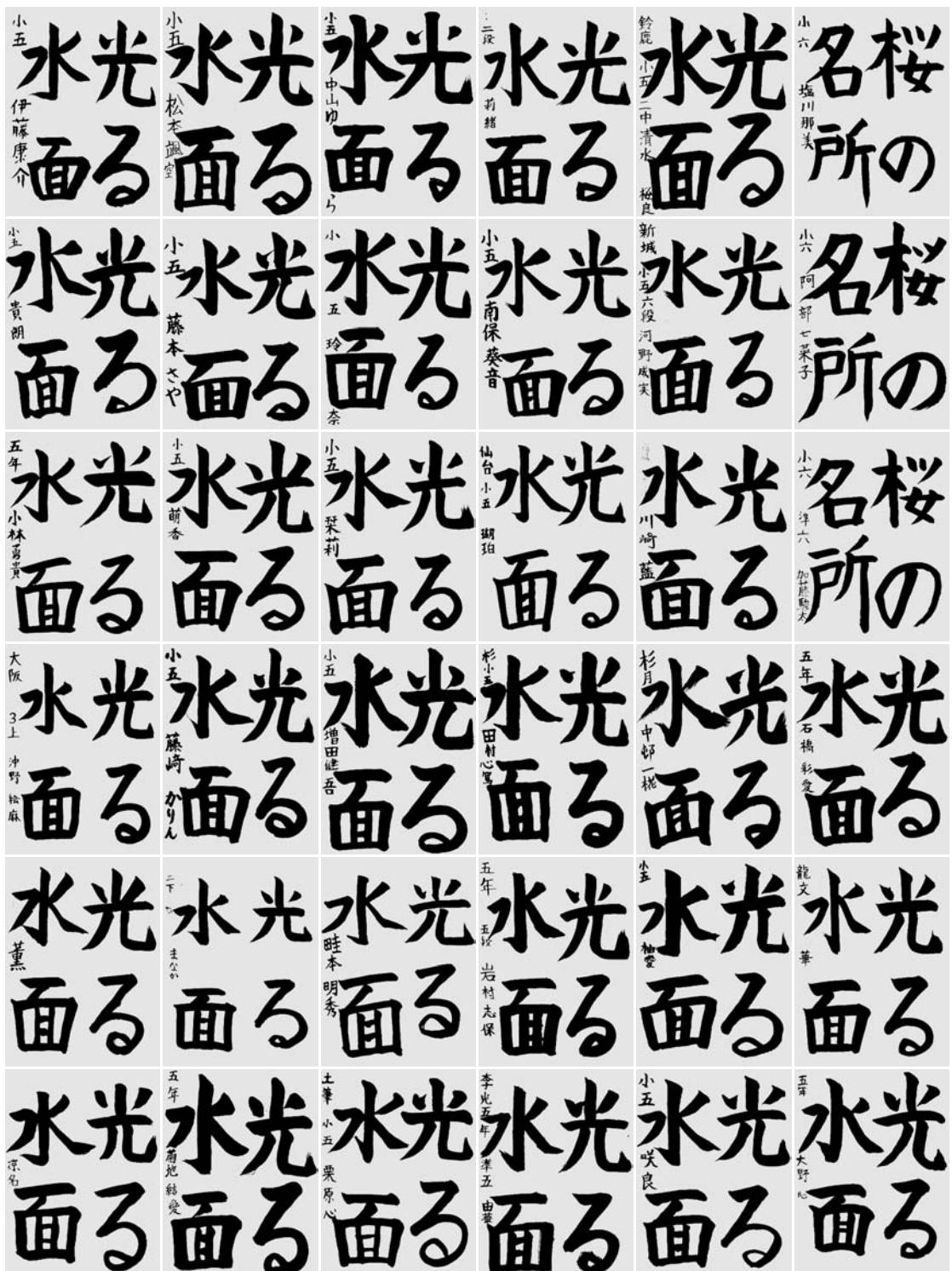
水  
面  
小五  
高森  
彩華

歩く  
中一  
中山  
茜

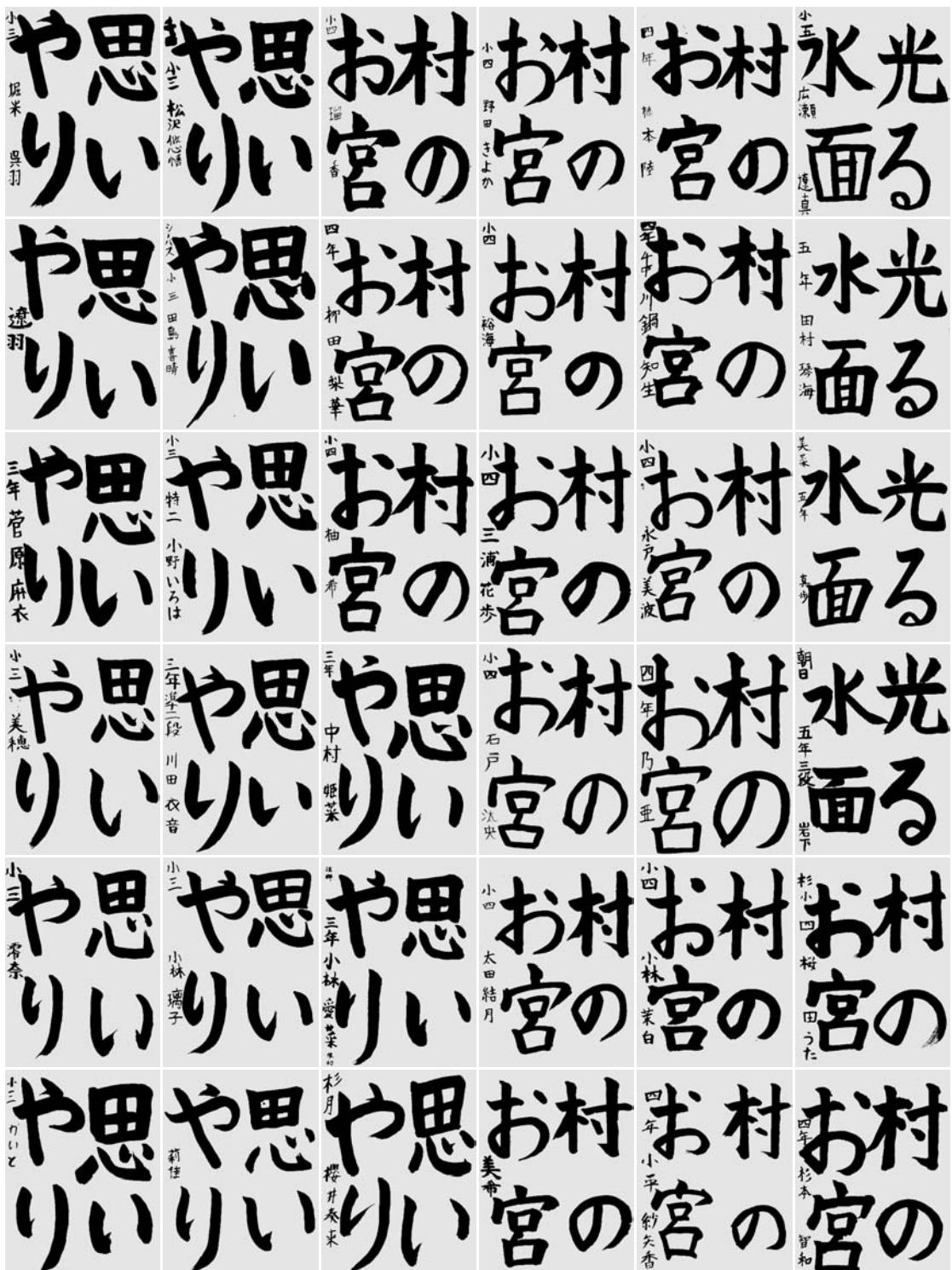


小六 官田帆乃美	小六 多田朱里	小六 亞由実	中二 宝田心美	元気に 歩く	独創的 作品	独創的 作品
六年 者	小六 大矢有紀	六年 名取柚香	聖中一 塚原玲樹	元気に 歩く	独創的 作品	独創的 作品
小六 柚季	小六 光悠	小六 純音	中一 竹内慧	元気に 歩く	独創的 作品	独創的 作品
小六 岩崎真緒	六年 中島桃花	小六 鼓乃	中一 保呂織	元気に 歩く	独創的 作品	独創的 作品
船橋 小六 上池澤りん	小六 咲南	六年 坂口正汰	中一 龍海	元気に 歩く	独創的 作品	独創的 作品
小六 明日香	六年 岡村美月	聖 六	中一 野代菜月	元気に 歩く	独創的 作品	独創的 作品

光船北中山玄玄華大一高和宮こみ松平秀雪小六優秀硯中聖倭  
丘橋府野愛默樸雪田絵社 川のな戸成雪小六生雪扇野馬  
池岩畠宮岡伊中薄大多岩坂石野名石塚重  
澤崎内田村藤島井矢田佐口川山野保田塚原  
明帆葉竹田代村田竹田代村田  
日香実乃美咲桃光有朱明正鼓純柚由  
りん緒季渚果月南花悠紀里夏汰乃音香実  
舞華緒恵果瑞舞冴京音太



玄雅 大阪 美苑 綾華 茅野 富貴 芙二 霞墨 秀彩 八潮 城高 横社 月めぐ 右文 仙石 杉有 月凜 心研 鈴鹿  
 樸桐 生澤 内山 小林 伊藤 菊地 星野 麻星 藤崎 針金 松本 栗原 畦本 増田 小澤 宮崎 中山 早川 岩村 佐藤 南保 大竹 柴内 上西 邑中 崎川 岬河 清水  
 成実 桜良 藍心 彩華 駿太  
 若竹 塩川 那美 大象 阿部七菜子 駿太 駿太



[ 小三 ]

若中華大一高絵社	雪野名象	千曲川	往小笠	山城	練馬	光丘	青雲	華山	愛雪	光之
松野龍文	絵文	東有	郷	成扇	扇	柏	雲	墨	山	書
野田	大	象		野	野	心	霞	愛	之	春
堀米市之瀬	一	花		佐藤	木下	永戸	永戸	乃	山	杉
白谷平坂	高	島		柳田	太田	森田	橋本	亜	村	春
原	絵	田		佐木	木	小林	杉本	美	関	ひ
堀米	社	島		大久保	下	永戸	橋本	波	口	ま
快斗	美穂	田		柚木	裕	永戸	杉本	智	田	廣瀬
溝奈	遼羽	島		希	海	永戸	橋本	和	下	う
麻衣	吳羽	田		瑠璃香	花	永戸	杉本	陸	村	陽莉
遼羽	佳	島		華	歩	永戸	橋本	智	下	眞歩
吳羽	佳	田		乃	汰央	永戸	杉本	和	村	琴海
快斗	美穂	島		美希	裕海	永戸	橋本	陸	下	遼真
溝奈	遼羽	田		奏	海	永戸	杉本	智	村	琴海
麻衣	吳羽	島		来	希	永戸	橋本	和	下	眞歩
遼羽	佳	田		姫	希	永戸	杉本	陸	村	琴海
吳羽	佳	島		菜	希	永戸	橋本	智	下	陽莉

ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん
小一 はやと	小二 つじが しおり	小二 みゆ	小二 れいだ	小二 れいだ	小二 れいだ	小三 村上 永寐	小三 村上 永寐	小三 村上 永寐	小三 桶本 さんら									
ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん
小一 平の ひら	小一 そうすけ	小二 めい	小二 れいじ	小二 れいじ	小二 れいじ	三年 田中 俊衣	三年 田中 俊衣	三年 田中 俊衣	小三 槌屋 佳利									
ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん
一年 山田 直優	一年 山田 直優	一年 山田 直優	一年 山田 直優	一年 山田 直優	一年 山田 直優	小二 しま田 千穂お	小二 しま田 千穂お	小二 しま田 千穂お	三年 琴香									
ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん
一年 ささ木 はるま	小一 しがわひつぐ	小二 宮坂 ひなた	小二 中沢 ゆく	小二 中沢 ゆく	小二 中沢 ゆく	二段 田中 真理	二段 田中 真理	二段 田中 真理	小三 田中 真理									
ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん
小一 さき	小一 へい	小二 仙台	小二 華	小二 華	小二 華	小二 華	小二 華	小二 華	小三 はるか									
ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん	ほん
小一 むらわいあ	小一 けいと	小一 田中	小二 ゆり	小二 ゆり	小二 ゆり	二年 六上	二年 六上	二年 六上	小三 大阪									

[ 小二 ]

松	玄	神	皓	好	霞	美	秀	湊	華	源	若	竹	一	竹	若	霞	み	皓	珠	新	藏	富	大	竹	花	虹	秀		
玄	嶽	奈	花	野	墨	二	雪	華	源	創	竹	葉	華	華	松	松	花	花	紅	潟	成	成	阪	富士	華	蓮	苑	雪	
聲	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	好	
西	根	岸	佐	々	木	小	田	山	石	川	小	山	高	津	中	原	山	西	山	嶋	中	島	中	田	中	中	中	中	
村			佐	々	木	平	野	小	野	房	野	石	山	山	山	山	山	山	山	山	山	村	上	田	上	田	上	田	
			佐	々	木	久	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	
			糸	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠	瑠		
			海	偉	眞	実	彩	寧	颯	翔	奈	大	真	湊	介	彩	未	風	雅	舞	華	心	暎	慈	太	都	春	香	佳

日記を記入し、形式へ要るなり。あら名のとおり毎日つける習慣を求めるもので、常にまとまり簡単に済むが、必ず進歩が守らなければいけない。誠実さが大切だ。

京都中二  
浜田心希

日記を記入し、形式へ要るなり。あら名のとおり毎日つける習慣を求めるもので、常にまとまり簡単に済むが、必ず進歩が守らなければいけない。誠実さが大切だ。

北川菜乃果

日記を記入し、形式へ要るなり。あら名のとおり毎日つける習慣を求めるもので、常にまとまり簡単に済むが、必ず進歩が守らなければいけない。誠実さが大切だ。

華雪支部中二  
吉田美音

日記を記入し、形式へ要るなり。あら名のとおり毎日つける習慣を求めるもので、常にまとまり簡単に済むが、必ず進歩が守らなければいけない。誠実さが大切だ。

霞墨一葉  
練馬小五  
川久保舞

日記を記入し、形式へ要るなり。あら名のとおり毎日つける習慣を求めるもので、常にまとまり簡単に済むが、必ず進歩が守らなければいけない。誠実さが大切だ。

瑞祥安形朱美澪

日記を記入し、形式へ要るなり。あら名のとおり毎日つける習慣を求めるもので、常にまとまり簡単に済むが、必ず進歩が守らなければいけない。誠実さが大切だ。

山口璃々  
和虹蓮田

### (硬筆)

【一般】

港南春玖横山京節

窓眞

倭湊珠悠

岩下

有象

吉田

林

牧原

史佳

眞結

理紗

眞嬉

桃子

優菜

史佳

霞墨

岩下

有象

吉田

林

牧原

史佳

【中学】

【小三・四】

【五・六】

坂井美萌紗  
吉原優衣  
北川菜乃果  
若松光丘  
若松光丘  
河野蒼士  
河野蒼士  
八潮白土  
八潮白土  
鶴嶋美音  
新海陽崇  
鶴嶋美音  
新海陽崇  
山口蒼士  
蒼士書之  
和虹蓮田  
和虹蓮田  
小酒井まな  
小酒井まな



サ神"正"中国上右八飯"港長港紅名花名松""碩汀"産上檜松土大白"若國碩長"碩中檜大宝"中和大和大宮蒲 ン奈桂勢府里文南山南野南竹東象東南雲松吉里森南曜象岡松府雲野雲野森象春野手象川田
豊懶花優桂桂峯陽梢啓惠窓玲玉慶美彩藤敦志馥欽多明秀清涼溥朝鈴麗朋肇昌桂武靜輝壯鐘暉美寶栄穂梨光江圭祐浩 美音喜翠泉峰美舞耀山松陽風子煌窓靜子里奈花子苑郁造子美娥光山花華香泉子子翠浩淑子一栄山水春香華舟風草苑貴子
中若玄国霞高笠飯""華秀月季"蒲文"杉有須平土宮北富北靜"新碩"中華秀土玄野新八宮若大飯"玄心"大 勢松黙府墨風原田雪雪光田化象坂成筆地府貴府翠城雲野雪筆嶽邊城戸地竹阪田樸準和秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀 桂千章洋珠照和愛華め華華陽尚京典佳彩紅凜麗智信信嘉俊佑みた日さ康春祐紗清淳桃和真憧憬伸麻梨荷範益悠美 知玉華敬範惠悟美加詠み琇祥子子子子麗流秋艸恭一子子瑛子り子子子幸菜子加秋子子光弓泉珠衣子玉亭喜子
茅榉静"若富"水"京星"京サ岐柏柏志瑞湊白晏富蒼北綾右書"書有汀神青高美唯"玄玄櫟富硯玄葉静"大正 野森象竹士竹代都都ノ阜心芳摩様山墨貴穹宮華文集師仮集象松龍雲風菜心心燭森士燭月山阪桂 秀秀秀 美彩寿鐘貞秋冠耕峰良邦徑美絢詠孝蓮我聽名華照泰藍菖伶絵稍雨範名朝直絹祥順高壽聰彩和清喜樂早親敏佳珠珠智 恵予紅汀仙月代泉山雪楓楓舟子舟山月琴遙節慧花風那子琴虹子子子星子月千子乃夫人游南希夫子鳳恰天子
江産書八玄象産玄龍寿"自"映土若"春杉有須西京若玄書上巖倭靜淺倚大太玄笠磯小玄"文倭巍志聖硯葉東"房珠 松吉集南嶺月吉成文台産心曜宮玖象坂都竹黙之尾山間雲阪象模原辺光默化山摩月光秀秀秀秀秀秀秀秀秀 絹想谿江華洋茫穆映訪淡清珠映壯梗節千秀麗智西雅太心蕙康宏靜順珠麗続泰葉小頬爽玄綠霞汐花硯すみふ天蠍 子花暉葉子苑舟雪泉愁遠岐祥山紗真節庭吟真沙幸一燈翠沙松美花映子悠香華帛苑琇山節華水泉香瑠心子え翠桜子
"皓"平"董"柏岡國"柏"京八"京源備"足芙"源瀬"富"蒼"備"北綾上"小遊神右 花成心谷府心都南都創後羽容創戸貴穹後府華里平奈文 皓翔明翠翠静翠芳翰華通景桿綾彩弦春紀寿明禮澄菖美明邑邑草壺妍秀美菖ハ菖悠凌照濤芳紅遊櫛稍 ず惠智惠知ナ 雲子麗子桜桐雅江紗み真舟舟峰明仙舟子楓照信子雅美子子紀子惠水峯竹藍英象麗子月コ珀翠翠美仙月華嘉泉陽
""湊信"水湊""青富"若靜光富香産有香""桿"桿春有"杉"有"須惠"大代雲士竹象丘士吉穗森墨玖象坂川 晟晟汀汀妙梓祥隆皓純瑞順美憧憧靜政和禎琴穗藤天惠光文小素涼哲優豪英素溪虹京有初蘭凜採花愛祥智智智智杏皓
玉秀茜紅仙虹月雪草彩竹子穗泉月成一子子月波子妙星水嶽琴風香山華峰遠州霞霞節美泉庭秋花庭麗節壽悠祥洲果花 サ宮茜恵長紅サ"正"蒲"霧春"墨東國靜愛芙""中大本"汀産櫛土長"美相桔""玄東美""京青京 ン地川野竹ノ桂田訪凰心和府心五野手庄松吉森曜翠生興川耀根那都雲都
美笙谿惠玉美豊汀花優典文立皇春幹翠直峯秀絵尚春栄康鐘光桂明順秀真暉鈴樹蓮晨泉泰耀滿清紅霽和信佳津典竹博 音砂仙沙彩静里翠心峰美子子子鳳雨溪子山峰里子幸香子栄風秀美子娥子山華光堤英志泉楓子人雪峰代楓惠楓虹楓 碩新桐"新六"玄"産サ右八乙大寿一嵐自"宝静"映若自"霞石南""書八"松"國小 雲城生城郷嶽吉ン文南訓川内台絵山産春翠心宮產墨峯墨集南南府平
真晴秀雪敦摩佐麻彩永昭詠芳洗双李秋青碧松冬尚流す昭秀弥心寶裕靜映梗和夕雪瑤南谿愛谿谿朝啓志朝美鶴木 以里 静美翠川子紀子菜香實惠李葉葉葉麗松舟菜雅山溪枝子先生快春美翠芳笙華春霞霞月岳山鈴祥芳峰子風苑花仙苑華 "東"苑"房"東"茅東"茅東"桿玄ハ"梶八"珠"玄"柏"長花"游"港大 光風陽野陽野陽森成潮友潮紅黙心翠苑墨南泉
千道澄美壺汀江千曉志祥正峰江劔佳祥兔虔花瑞逕寿珠か良珠薰禾齊越旭大五天楠嘆紀孝惠泉文友禮由美窓玲萌 代惠は眞 子子子玉登霄惠苑道豊己純弦翠山蓮苑月山逕月月遊る龍杏モ苑花山蓉我福意舟光光翠子梢界光光光光真窓泉 ""富蒼備玄玄國""北"美綾相國"花"白長若"中"上檜松サ"石"葉サ竹静 貴穹後心燭府苑華興府象岡野松勢里森南ノ峯月ノ友山
藍陽喜妍菖勇孝景隼仙津代美頌玲雅沙沙久た桂翠藤玉朋香静肇桂桂陽溥陽薄香石彰善晴三壺琴美芳啓眞里テ佳 次弥也か厚奈佐ツ 月景咲龍佑峯郎草山翠子子山翠美桜泉雪恵ね翠花花泉扇淑子舞耀松山映山織舟月一子行水三子子子子絵子風
""静"長"飯"華"雅横硯"書"磯上妻柏国サ"瀬戸"辺尾科心府ノ 野田雪二之
君虹美静玲静絵成成玉薺華華華華奥華華華華雅義真葵奈翠葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉康借鹿景美弘五陶友喜白竹典 子静静思奈邦静苑華蘊翠芯慧琇遊桜泉穗凌紋聲香春映之理翠々幸楓芳蕉梢曉草徑涇舟仙春聲泉舟子代華梅春羽心子 ""文有"巍"樂巍樂""巍樂"志"聖"瑞"葉"月 化象山書山書山書山摩祥月
秀麗紗比汎茜信雨伊松澄翠晴江晨霞恭佐蔭幸蕙霞清涼道雪香楊富典惠患名名霽名陽和弘百美知裕靜靜江小優靜遊 登紀美合智 月爽虹彩影英翠香子沙江山沙茜雪菖影美草泉影舟子華幸園苑舟子子由扇志紗柏子子子真靜敬幸鶴靜翠月恵心 "笠墨"長靜長靜高"玄藏長若笠照倚サ虹藏美"浅麗"浅"玄照玄杉"大高妻"小土 原洋野野風樸野駒原澤雲ノ苑菜間墨間樸澤心阪風科光筆
泰泰千静杏恒由晃惠靜靜清桂輝香梅富真泰照光直里惠霽琇李韶琴湖愛蓉李淨春芋綠照珀靜萌玻惺春光光光陵紗曉泉 柚邦波千靜靜靜子唱秀風春山琳秀靜花仙好瑤子香香彩峯香泉羽泉光光雪山里里風和舟章玉玉花清惠霞搖光光麗秋



自新高国港上桜	磯飯一東若長小国柏	志房長藏笠	游石静瀬	蒼	長南書	玄大浅	静翠	巍产	基	若浅正	宮間桂
産城風府南里森	辺田路根松野平府心	摩風野原墨峯戸穹	翠墨集	樸象阪間	山吉	櫻山	吉	櫻	口	口	梗湖汀涼
和敦実峯窓濤彩葉集成幸秋蕙靜杜鵑採聽楊壺富惠泰文美彰秀草菖秀響樹南谿夕淨絃雄珠李靜香貞琴									本		
春子紅山真仙紅草苑	楓河香淑華苑舟月舟玉静香仙界	光月峰竹風麗光岳	暉紅山華峰悠香翠琳松月								華泉心華
高皓土玄櫻書龍文巍若青聖志京	櫻水巍倭巍文	玄茅京房巍若長上杉	草玄華	静	玄	八小	茅產	右自月			
風花曜默森集文化山竹雲	摩都森代山山化	黙野都風山竹野尾	嶽成雪							樸潮野	吉文產
白皓花禾劍谿映節霞	竹花雪良小佳素廣峰西綠佐玄天順曉邦天翠太靜康採翠靜詠穆華靜優江靜桂	め	兎小峰	荒	梢清柴					ぐ	
葉花仙苑山山雪舟菖心虹	瑤園楓琴蓮州山雪草水美華	遙道道楓翠山	一唱春花桐江李舟慧秀月	静幸春	み	月	琇弦苑	琴遠光			
飯蒼若皓須杉靜若玄文	櫻玄若櫻房様信	高茅白蒼若書こ	茜白若霞	野月	龍港	石巍	產	静志	四上		
田穹竹花坂	翠宮默化	山樸竹森大	風	野山穹竹集の	岡松	墨	文南峯	山吉	摩谷	里研	
玉秀耕皓智採靜梗順麗汐霞江香太劍天天梓紹羊小憬白志正晚照菖	谿翁玉肇夕淳柴	映窓瑤翠秋優楊景	渕	究							
蘊麗山花真花翠紗道玉影菖西琳	一山翠妙虹華里楓花葉	豈純道節月	月山和沙沙泉子霞子	光雪	真月	山麗	月舟	汀仙			
″玄長巍志聖硯文巍若巍土墨靜	櫻西靜白靜大	磯靜大	櫻巍若象	象	長雅	玄	大巍	小			
樸野山摩化山山曜洋	森岡象	象	象	象	象	象	象	象			
翠柚靜晨聽花観風汐綠霞花千靜彩素西	小朋江京葉靜玻	聖佐	櫻	研究							
法香淑雪月瑤心節影水菖仙波散紅州沙翠泉靜香	曉翠玉嶽美月										
霧源東玄大	新墨玄高雅磯新中書	美柏硯大入靜	玄柏雅	サ	草有	樅五	隸書	茅瀬靜石董信若櫻	巍飯上書	靜大	象
訪創光心阪	城洋樸風	辺城野集五心	阪間	樅芳	象友	象	象	野戶	峯	大竹森	山田尾集
立岡三禮珀林田彩麻摩千太小清葉日悠熊尚翰真熊空長自己雅松い夕花	段										
江宅珠中里	田林永出	田野谷井	田	田							
子邑健子舟恰滿香菜紀波荷真雅蕉子舟理珠正川め芳染眞み節巡											
小高玄書柏玄霞櫻葉國八	野樅玄大宝柏北信聖東花葉	曉玄墨中文若平中	瀨東瀨綾游	有靜櫻珠	″	静	大				
光風嶽泉芳	木森府準	黙辺友黙阪春心府大	陽象月四	月	默洋勢化	宮成野	戸陽戸華	瀬森悠			
光佐華須成一櫻湯啓笛ま丸工章	樅柏礼伸裕綵凌山碧江藤子段	島頬香桂節梗明鐘及加山弘久周	大林碧半	大林碧半							
孝藤澤井田生す山和敬淳と山珠美翠	高瑞惠花愛	空長自己雅松い夕花	藤住玲	藤住玲							
搖美葉香衛枝晨坂子芳子洋			山織玉舟華麗翠	五教子							
玄長游松靜こ大暁柏須映中若游笠八須櫻	高柏櫻玄八新瀬	ノ葉若葉信	富京静	笠	暁葉月	書玄葉	月☆	☆	☆	☆	☆
嶽壽墨代の阪二華芳潮坂心野竹墨原潮坂森	森友成戸	森竹月象月大	士都原	華月	泉心	月	三	有象	長野	玄默	
望小小神美佐清福久喜田田珠山相游市	市原川平木倉	本岩野里中黑浅祥野安吉田柄知久	久鈴佐和蒲手石八渡	鎌上石井	美佐	永武	相木居	美	井	薰	
月池山智藤田清紫光禮子里晶九男龍兔岐	田澤田原川平木倉	本岩野里中黑浅祥野安吉田柄知久	久鈴佐和蒲手石八渡	鎌上石井	美佐	永武	相木居	美	井	薰	
大杉有有巍有巍象象1	大坂平駒象特	象之大若玄	藏長書書大	笠玄	暁八ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	
落紅麗節伊夢級	藤廣鹿真渡和	關翠森村中朝	翠森村江千貞	松唐木千貞	江千貞	松唐木千貞	江千貞	江千貞	江千貞	江千貞	
良流竹喜峰子橋	文坂西子	文智子幸千真	文翠曉蕙	春松	春松	春松	春松	春松	春松	春松	
杉長信高大サン7	四石中石八	大玄	游櫻光青	櫻花	八	霞墨	宮南葉	小美	3	笠	石峯
娥由杉崎兼	清平渡鈴康浦西野瀬田	水内藤井	佐植安井	能山下寺	寺祐	湖祐	岸善	藤	原	森悠	月2
舟静翠実	慶捷子衣詩和連	穗節麗良威萌曉游	彩葉笑美弘英松	野勢中垣澤	岸智	岸實	真堂貴	由	由	宗	
新和書花游名八	八サ若宮茜	柏富	北玄茅竹櫻光青	水	水	聖練志	葉玄横	八北	5	笠	石峯
城集苑墨東南ノ松地	心貴	府月	耀野華森丘雲	代	馬摩月	月心	二南	府	楷	原	書集翠の
川大畠北游	大南松谷牛吉	綵合藍穴	宍戸村	伊湯酒	佳	柴水	宮坂西	山	山岸	8	中野○
鍋森山村	津江遥丸田葉	木村林藤田井	一介	田野野村	木本	松田	坂西	山	伊勢	新平野	新千葉
魔鬼とす仲葉真華富和舟詔月	千羌知則	佐坂秀子	予仁礼彩	萌奈	仁伊修	本島合	本島合	本島合	千賀谷	津	月夏
中産長游松飯名	三美東船詔珠	信瑞信珠	玄杉大玄	高四	四	笠原	華雪	長磯	岩	成城	霞墨
野吉翠墨屋東山の苑	根橋	祥大山悠象	阪樸	風	谷	原	野邊	文化	杉有	成城	秦野山
湯小大長金掘渡多中久高南佐	佐長半美段	天青濱田穴唐清	小光圭	石圭	圭	由歌森	秋華安	中酒柏崎	麗夕酒	千增井	君服部
本原池竹子静邊賀原保橋藤久	塚田濃裕	川由木田中原川	兼林	并み	み	貴田	清谷	部西井尚	酒	三杉井	久子佑
瑠昭怜雅千子琳谷岳多美亞	華間祥菜部	裕美譽	満義哲	実真	眞	田絵	円石賢	聖ひ智	谷	井	テ佳
杉中汀紅富さ星竹一櫻長瑞	長笠四大秀	玄房美杉	大杉玄	高	高	笠	静横	秀珠小玄	倭杉有	皓泰野	
目翠中松及下竹阿根柿中奥一小手	藤林圓齋鈴	佐佐木	佐久山上	小市武	蒲原澤	宮川竹田恒井	高井	坂林	櫻井栗		
久白志友翠美内紀和有亮	松及紫す恵由理真	林井村野	幸末	山村	浦居	川竹田恒井	高井	坂林	腰飯		
信大美玄美	船若富瑞硯	硯珠八	竹星大晏	中酒柏笠四	四	華磯	四	秀珠	小玄	倭	文化友
大淀生耀那橋竹士祥	扇馬悠南友	阪象墨四	風	原		雪	原	櫻和	櫻	雪	月霞
山道南坂ス神平大小	小玉服高館宮古熊白	奥新藤佐上	福林宇	今古後	長加成	手石門	齊華石	今原柳	稻	仁漆	三小野
田喜野本ミ谷野橋山木部村澤嶋屋谷	澤手保平	々久田照留	井浪本藤戸	藤澤塚川	屋藤居	屋藤居	屋藤居	見本	松平	谷山	漆齊野
高正晨ゆス萌葉愛美桃	美舞文綠利麻璃利朱木保九子賀	笑裕恵田智穂	蘭美	和雅	眞静	沙靜	玲帆	茉幹	羅	千	彩洋

水優船横長	龍玄優麗杉玄高笠四静	華横	秀玄城文	倭有須乙右	一霞	中書八名飯	飯玄宮小富瀨	北さ	美苑
代生橋二翠三文	心生墨樸風原谷	雪二	雪默彩化	象坂訓文	繪墨	野泉戸東山耀地	平貴戸	府わ	
柴宇出佐中段	柳楓高永一宇猿高赤森小齊横肥常漆清尾	森大田堀津閑宗	小烟須藤山鰐	都鹿島未	奥林細都	豐森詩	吉岡音	松下智	
田田口藤條正ま	倉澤本田田桃枝利朱景み由華蕙源来彗綾真光	知塚鍋口村根像	豪田良奈星瑞キ	恵田山香	崎峯未	梨田香	酒泉音	薺智	
川陽江正	横志八	玄ひ大" " 笈" " 柏靜華	秀土八玄倭成花一若	中小名飯中	都鹿島未	崎峯未	奥林細都	珠" " 竹船櫂	玄珠
二摩潮準二	心ま阪原芳雪	雪筆潮黙城雲給宮	野平東山心勢	若北サン	神龍木	勝木	詩泉	舟華橋森	書泉
高大小段	成加廣萩森牛真竹黒佐李中桑里中山倉礼千酒寺安增田古岸	大山岩浦	東古岸	小平押田後湯長渡碧	高高	水津	鎌上	小井法	
柳西林滿麻陽	藤瀬中原舞山内岩藤奈西島川西崎葉井澤藤原中田	津佐佐田	島山島	平押田後藤澤谷川步	高橋	高橋	高未	未恭	
陽真俊鶴幸良良完里	菜美豊浩彩ひ子山美信弘楓東真福澄彩葉夏桂胡仁夢慶廣恭	仁夢慶廣恭	豊洋川歩	後藤澤谷川步	未	未	未	未	
北瀬神船富	光久東信千赤久若玄柏" " 高長華橫秀土城八文須平右李石東	東	陵勝竹	船	一桜	長若	光葉	柏丘	
府戸龍橋士	丘喜光大曲石喜松二樸芳	風野雪二雪筆彩戸化坂成	文光峯根	心淀木華	橋	葉森壽竹	月芳		
表吉松笠池	中友間奥杉安宮川河段	北中清山宮鈴赤門佐浜	小寺松広原梅	児菊鈴石山小工	中吉銀	今皆城	吉相澤	吉羽原田	
昇川原田	川村野庭山崎藤下鍋島ノ川澤水田島木澤	間藤田笠脇原	松瀧村敬	梅原地木木	中村林	村林	村林	村林	
我眞朋芽琴草和未翠由如裕郁	深亥嘉朴	倭節心蘋渚原	文那琴	智晶拓紗喜	千喜碧	碧千喜	碧千喜	碧千喜	
暁月初	和笠晴杉大犬華文八八皓月	高和石灘若瀬松	大急秀	高笠	笠	高秀	秀僕	書春野	小集
早川香	初原美阪象華文八八皓月	大風雪ノ戸花	大	笠飯人	风	秀	僕	春野	
四段	白林田古妹阿北安中野田大松上湯	今唐佐赤田大工	青大嶋柳	北落安大	渡	長浜武	本城中	古山田	當間秋
崎活	変辺尾部川里名坪本惠	津道藤	中城藤	加藤安藤	渡	濱孔	濱孔	山田	月
木山香	正一磯小今水金安立園田中段	平山村吉清山	松柳星長	竹鈴稻	大倉	大村	村	山田	
千純葉果直田余ひ浩楓郁靖有塙	木井半田朱真理	井原千	谷澤千	穂田井	渡	健斗	健斗	田山	
"名若茜さ大" " 一若富" " 光練珠須八成	映若虹杉大柏書	華上秀士	玄小玄" "	宝月高竹	船有練	東小飯	中中央	有象馬	
東松わ淀路竹士丘馬	坂城准心松宛	映若虹杉大柏書	玄小玄" "	宝月高竹	船有練	東小飯	中中央	有象馬	
木山谷栗村岩正一磯小今水金安立園田中段	平山村吉清山	松柳星長	竹鈴稻	安門	大門	山古	山古	山古	
下田美山山澤體系部林井野林井達川谷口村	山田松井野	田中才	穂田井	門田屋	屋田	山田	山田	山田	
千純葉果直田余ひ浩楓郁靖有塙	井田余	田中才	井田余	田中才	屋田	山田	山田	山田	
杜倚照大" " 一笠船櫂" " 光珠笠	須笠	映若虹杉大柏書	華上秀士	玄小玄" "	宝月高竹	船有練	東小飯	中中央	有象馬
会雲澤阪	坂城准心松宛	映若虹杉大柏書	玄小玄" "	宝月高竹	船有練	東小飯	中中央	有象馬	
中宇百村宮鈴三古松羽丸千阿玉信三星住屋	木井半田朱真理	映若虹杉大柏書	華上秀士	玄小玄" "	宝月高竹	船有練	東小飯	中中央	有象馬
山野瀬田正育友	本木井半田朱真理	映若虹杉大柏書	華上秀士	玄小玄" "	宝月高竹	船有練	東小飯	中中央	有象馬
登杏成羅原木井半田朱真理	映若虹杉大柏書	華上秀士	玄小玄" "	宝月高竹	船有練	東小飯	中中央	有象馬	
笠四土杉大若石一" " 美北若書名紅中晚	雪月○○級	若東八雪月○○級	北備府後	茜大松大	硯青笠小	秀雪	土糞珠	上大麗	右月若中石
原谷筆内宮峯路	那府松集東竹	若東八雪月○○級	北備府後	茜大松大	硯青笠小	秀雪	土糞珠	上大麗	右月若中石
百峰大熊山林柄佐中渡若川石須須湯日唐峯	近加内青坂	大間熊間	大間	竹林	上大麗	上大麗	上大麗	上大麗	上大麗
瀬須知吳惠文暎庄手千洋春伴眞智	田谷藤井	竹林	上大麗	上大麗	上大麗	上大麗	上大麗	上大麗	上大麗
大玄書八戸3阪峯府北華柏秀中松大產	游青宝皓一路	若橫研朝山石柏	研光丘	杜千成晴	大笠	一産吉	源正	大玄手	
象黙之	雪芳秀央代手吉	研朝山石柏	研光丘	會曲城美	大笠	一産吉	創	大玄手	
牧渡杠野原部小浦若中	坂閑伊大鳴金池長林	研朝山石柏	研光丘	會曲城美	大笠	一産吉	正	大玄手	
原部く野淨由	月煙林木井半田朱真理	研朝山石柏	研光丘	會曲城美	大笠	一産吉	正	大玄手	
詩里衣千麻洋惠干友	煙林木井半田朱真理	研朝山石柏	研光丘	會曲城美	大笠	一産吉	正	大玄手	
平八杉成潮5	曉杉虹中石さ櫻有星玄" " みな	新茅光丘	瑞祥文化	書飯之	杉有中凜	一路茅野	茅野	茅野	
羽岩杉片記香彦	華友野峯わ森穗有星獄	新茅光丘	瑞祥文化	書飯之	杉有中凜	一路茅野	茅野	茅野	
角田浦す記香彦	原津小中花降大安栗上小嶋原田真美	新茅光丘	瑞祥文化	書飯之	杉有中凜	一路茅野	茅野	茅野	
照横杉承千	杉東暁秀天自承華李光丘小光	香大笠	晏吉原墨愛戶	新茅光丘	瑞祥文化	一路茅野	茅野	茅野	
澤二	風曲8根月雪阪产風雪田光丘	香大笠	晏吉原墨愛戶	新茅光丘	瑞祥文化	一路茅野	茅野	茅野	
小達莊藤智衣治秀江里	新平富畠李福大柿藤井田上海頭内兵	香大笠	晏吉原墨愛戶	新茅光丘	瑞祥文化	一路茅野	茅野	茅野	
松地の耀根	自承華李光丘小光	香大笠	晏吉原墨愛戶	新茅光丘	瑞祥文化	一路茅野	茅野	茅野	
谷牛	新碩中宮港中柏	香大笠	晏吉原墨愛戶	新茅光丘	瑞祥文化	一路茅野	茅野	茅野	
遥丸田本井保本澤	中翠及山神高下伸	香大笠	晏吉原墨愛戶	新茅光丘	瑞祥文化	一路茅野	茅野	茅野	
華和晶ゆ法多和智美儀麻志白翠晶美景倫峯	神高下伸	香大笠	晏吉原墨愛戶	新茅光丘	瑞祥文化	一路茅野	茅野	茅野	
富杉桜和松こ	新名さ竹樟若平華水龍八美高	香大笠	晏吉原墨愛戶	新茅光丘	瑞祥文化	一路茅野	茅野	茅野	
貴戸の生大	竹柴森竹成雪代四文戸菜風	香大笠	晏吉原墨愛戶	新茅光丘	瑞祥文化	一路茅野	茅野	茅野	
奥六尾礼松多鈴上佐望采神敦豐理碧真夕森柴段	大玄坂樸	香大笠	晏吉原墨愛戶	新茅光丘	瑞祥文化	一路茅野	茅野	茅野	
崎波崎と羅芳子梨千谷久保間清葉桃子茉香空美佳由礼	香大笠	晏吉原墨愛戶	新茅光丘	瑞祥文化	一路茅野	茅野	茅野	茅野	

□は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)

雅秀	倭権書	和八宮晏水靜乙碩	中長石紅小北長珠八硯靜高富書竹	笠大高	柏	笠長	静四	横小秀
雪	友集	戸地墨代山訓雲	野翠峯竹平府寿悠戸扇	原阪風	芳	原野	谷	雪二光雪
玉稻森千浅岸一田江都宇水長堀土山湯中唐下鹿向寿津小古佐岩	鎌佐赤澤上々澤木峯	石濱北真成市手蒲武石森	笠大高	柏	笠長	静四	横小秀	
井見知葉野千ノ島戸竹留野塚口屋田本條津垣島井	井田藤井澤和珠	原坂原居村澤村	原阪風	芳	原野	谷	雪二光雪	
力千子美洋秋瀬江蕙賀彩祥奈さ栄瑠正由美未嘉香恭原綠里保	和珠照良衛優美沙	原坂原居村澤村	原阪風	芳	原野	谷	雪二光雪	
笠八土華倭富大李皓若中瀬さ神勝一長瑞葉珠笠	足書瀬戸羽集三野	市手蒲武石森	笠大高	柏	笠長	静四	横小秀	
原潮筆雪貴象光花宮勢戸わ龍木路寿祥月悠原	戸阪	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
小倉小絵川小北齊竹林原林増浦吉阿松後一寿寿実吉半萩原戸尾系	☆☆☆段	市手蒲武石森	大	柏	笠長	静四	横小秀	
林林上暮澤山之照敬愛原田原田部尾元原田原戸尾系	金廣永後田	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
由子陽美紹華博理内子ニ友東桂真紀恭豊ひ敬星穂永菜幸	圓藤中田裕	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
一いち若柏虹美有玄符大等磯傍晚和晏	☆☆☆段	手蒲武石森	大	柏	笠長	静四	横小秀	
芳苑那象二輪原近月墨穂成府月悠光	須坂玄竹	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
☆☆☆段	玄竹	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
鈴吉小荻吉ス渡和林岩森石唐今米松佐細相奥段	☆☆☆段	須坂玄竹	大	柏	笠長	静四	横小秀	
木浦山原川ミ邊田能村舞井豪木惠倉永藤田澤手山	☆☆☆段	須坂玄竹	大	柏	笠長	静四	横小秀	
香碧愛千淳ス橙千活真花千晩美節梅信真ま璃る	須坂玄竹	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
石峯準雪藏小美柏四笠華八秀八倭小花大若東大三瀬竹櫻若久東	杉	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
菜平芳原古原雪潮戸雪手手	模	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
☆☆☆段	模	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
鈴木捷麻子游霽才和成菜順幹萬部成和弘友郁美智栄ミ香有孤音裕	段	須坂玄竹	大	柏	笠長	静四	横小秀	
玄源一さ若光瑞大礎華志北石高大秀備和倚大笠	☆☆☆段	須坂玄竹	大	柏	笠長	静四	横小秀	
獄創路わ竹丘祥淀辺雪摩府峯風阪後特雲阪原	段	須坂玄竹	大	柏	笠長	静四	横小秀	
○2	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
小多森村皆水佐大岩酒松大小浦山村川近白宇落	☆☆☆段	須坂玄竹	大	柏	笠長	静四	横小秀	
林田慶山川野藤澤井并西麻衣田口藤崎合	須坂玄竹	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
礼時子直恵靖華信由尚佑麻衣俊連水アキ育良	須坂玄竹	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
乙北若干み光富華小上八社笠高美苑1風	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
北訓府松曲な丘土雪光尾潮穗会東○○○○	大	柏	笠長	静四	横小秀			
○2	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
永若東山上文玉鈴今星曾大岩大益諷訖北松笠松	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
演月岡下田野木井木扶地記恩田彩香杏	大	柏	笠長	静四	横小秀			
和千胡紗美未心直モ部斗地記恩田彩香杏	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
桜北茜み東珠光硯中秀小右松笠高美苑1風	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
森府な陽悠丘央秀光	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
桐中坂栗小井立玉中城小坂東中竹常佐川片石津	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
原谷口田泉田井川本出西澤山井村尾佐谷	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
松理愛果典愛茉杏芦貞志幹先彩芽慧威実雅節星	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
信曉秀水新玄碩光美華北優晴秀5雪二野澤社	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
6月雪代城心丘苑雪生5雪二野澤社	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
○登級畠柴加小輝阿知岸石大石所雅崎間嶮堀景	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
内光智美ま真茉子純夏翔景	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
書瀬五段	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
翠野段筆	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
野幸美	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
倭城倭華玄華・四月	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
彩雪心	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
五段筆	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
野幸美	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
齊清千齋華暁珀土門穴鉢谷鈴大甘井染林青丸永井林宮友	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
山田葉木屋脇田原遥木島中上谷珠木山林萌	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
愛真美祐浜汀舟惠華義	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
城文倭若磯小四若倭李和練習美船倭	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
正彩化樸駆平谷三竹	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
浜三長一真酒藤竹冠幸今大長熊鈴大平廣井段	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
田藤濱井井下豪江美怡雅利久峻葉	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
郁紫孔枝花尚和惠泉江美怡雅利久峻葉	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
東松若華和華大暁雪阪準代	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
光代宮雪	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
ふ宮増齐田中妹藤林大鈴和中稻渡工藤田津	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
み山原島畝尾千牧悠津木田村岡辺藤森中田	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
え友東綾江麻睦代美喜伸心千成栗歩千皓恭芽紀	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
山石小桜長若照華秀上一有光葉董船名中若富久山嵐	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
小愛峯平准野宮澤雪雪尾葉穗丘月	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
☆二段	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
長阪鹿尾晃林照華松長吉柳中文敏い工浦小浦皆玉間白增大浦川壺	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
井田島崎萬万清本谷澤藤野田川木庭野すず藤野	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	
井田島崎萬万清本谷澤藤野田川木庭野すず藤野	秀	原坂原居村澤村	大	柏	笠長	静四	横小秀	

( )は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)















# 昇段級試験

要項

## 師範昇格試験

要項

### 師範昇格試験

出品資格 準師範試験 一般部で準五段・五段の者

師範試験 準師範の者

昇段級試験の一般部規定に同じ

出品規定

☆準師範試験 四〇〇〇円

☆師範試験 五〇〇〇円

### 昇段級試験

左記の要項にもとづき昇段級試験並びに師範昇格試験、特待生試験を行います。

ふるって力作を御出品ください。

### 出品規定

#### ●小・中学生

五月号の毛筆規定

五月号の硬筆規定

#### ●一般

四月号の漢字条幅規定

五月号の隸書条幅規定

五月号の楷書臨書規定

四月号の行書臨書規定

五月号のかな規定

五月号の硬筆規定

### 出品料

●小　学　生——一点につき 五〇〇円

●中　学　生——一点につき 五〇〇円

●一　般——一点につき 一〇〇〇円

### 特待生試験

#### 出品資格

・小・中学生で現在準八段の者

#### 出品規定

・小・中学生は昇段級試験と同じ

### 級位用

●小　学　生——一点につき 五〇〇円

●中　学　生——一点につき 五〇〇円

締切日 五月二十一日(木)（厳守願います）

### 発表

出品者あて成績通知をもって発表にかえさせていただきます。

師範試験及び特待生試験の合格者は八月号誌上に発表の予定。

出品先 〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三一六 上條方

書象会 藤森大節 あて

### 出品料

今後の書象会の行事予定としては、読売  
展の作品添削会、様々な講習会を計画して  
います。しかしながら新型コロナウイルス  
感染防止に伴う公共施設の休館等により、  
日程や会場を変更する場合がございます。  
その際には、書象誌や支部長の先生方を通  
じてご連絡をいたしますので、よろしくお  
願いいたします。

また、会員の皆様もお体には十分にご留  
意下さい。  
(書象会)

発行人	(有)書象
代表	上條夫
東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三一六	郵便番号180-0001
振替口座	〇〇一九〇一七一五五六九一
振替名義	(有)書象
印刷所	株式会社リンクス